

2022 年度 自己点検・評価報告書

2022年度  
(令和4年度)  
動物実験に関する自己点検・評価報告書

岡山理科大学

2023年7月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、動物実験管理体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼育保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則が定められている。また、AAALAC 認証取得を目指す今治キャンパス（獣医学部）に関しては、ILAR ガイド（米国指針「実験動物の管理と使用に関する指針」）に従った動物実験の運用管理体制を行うため、ILAR ガイドに則って、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則が定められている。機関内規程（岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程）は基本指針に則した内容であるが、条文の不足や重複、記載間違えの箇所があり、修正が必要である。
4) 改善の方針、達成予定時期
2023 度中に「公私立大学実験動物施設協議会」並びに「国立大学法人動物実験施設協議会」が提案・公開する最新の機関内規程定難形を参考に、取扱規程の条文の整理・修正を行う。

## 2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、2022年度動物実験管理委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に適合する動物実験委員会が組織され適正に運営されている。 全学委員会の構成（2022年度）：教授4名、准教授3名の計7名（動物実験等に関して優れた識見を有する者：4名、実験動物に関して優れた識見を有する者：2名、その他学識経験を有する者：1名） 岡山管理部会（2022年度）：教授4名、名誉教授1名、准教授2名、外部委員1名（国立大学教授）の計8名（動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名、実験動物に関して優れた識見を有する者：1名、その他学識経験を有する者：2名） 今治管理部会（2022年度）：教授4名、准教授4名、助教1名、獣医師1名、外部委員1名（私立大学理事）の計11名（動物実験等に関して優れた見識を持つ者：5名、実験動物に関して優れた識見を有する者：3名、その他学識経験を有する者：3名） 岡山管理部会に「実験動物に関して優れた識見を有する委員」を複数名おく必要がある。現状では、全学委員会と同時開催とすることで、「実験動物に関して優れた識見を有する委員」を複数名置く体制にしている。

<p>4) 改善の方針、達成予定時期 2023年度の岡山管理部会の委員に「実験動物に関して優れた識見を有する委員」を複数名置くよう人選を行う。</p>
---

### 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、岡山理科大学動物実験計画書様式（岡山キャンパスおよび今治キャンパス）、動物実験結果報告書様式、動物実験計画書（変更・追加）承認申請書様式、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届様式、動物実験（終了・中止）報告書様式</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。規程において基本指針で定める動物実験に該当しない実験計画の審査も必要に応じて対応していることから、実験計画書様式の想定される苦痛のカテゴリーの記入欄の設定の改良が必要である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 2023度中に実験計画書様式の記入欄の改良を行う。</p>

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 岡山理科大学組換え DNA 実験安全管理規程、岡山理科大学組換え DNA 実験安全委員会規程、組換え DNA 実験安全小委員会細則、岡山理科大学今治キャンパス放射線障害予防規程、岡山理科大学岡山キャンパス放射線障害予防規程、岡山理科大学岡山キャンパス放射線・X線安全委員会規程、岡山理科大学今治キャンパス放射線・X線安全委員会規程、獣医学部病原体等安全管理委員会規程、岡山理科大学病原体等安全管理規程、岡山理科大学獣医学部病原体等安全管理細則、岡山理科大学化学物質取扱要領、岡山理科環境安全衛生センター規程、岡山理科大学安全対策マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程等により安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。</p>

### 5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届様式、動物飼育室の利用マニュアル（岡山キャンパス）、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、動物飼育室の緊</p>

<p>急時対応マニュアル（岡山キャンパス）、災害対策計画（今治キャンパス）、岡山理科大学安全対策マニュアル、実験動物飼養保管施設一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種省式等も適正に定められている。また、飼養保管施設の利用に関するマニュアルや地震や火災等の緊急時に対応マニュアルが整備されている。なお、今治キャンパスにおいては、ILAR ガイドに対応した詳細マニュアルを準備中である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 2023 度中に ILAR ガイドに対応した今治キャンパスのマニュアルを整備する。</p>

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>今治キャンパスにおいては、ILAR ガイドに準じて動物実験等を実施する体制としている。また、今治キャンパスの飼養保管施設では管理獣医師が置かれている。外来生物法の適応を受ける動物の飼養に際しては、法令に基づき適切な許可を得た上で実施している。</p>
--

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、全学委員会議事録、管理部会議事録（今治キャンパス）、2021年度動物実験計画一覧、動物実験計画書審査記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験管理規程等に基づいて、学長の諮問機関として全学委員会およびキャンパス管理部会を開催し、関連事項に関する審議、動物実験計画書の審査を行なった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書審査記録、2021 年度動物実験計画一覧、動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書、動物実験の自己点検票、動物実験計画書の年間承認件数一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書を審査し、学長の承認を得るとともに、動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書および動物実験の自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。 2022 年度の動物実験計画承認件数 165 件（うち実施 134 件） （岡山キャンパス 31 件、今治キャンパス 134 件）</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。</p>

## 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 2021年度動物実験計画一覧、動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、実験動物飼養保管施設視察記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。議事録の共有、事務の共通化により安全管理に注意を要する動物実験に関連する委員会と情報共有を図った。また、当該する実験について、事故等の報告はなかった。 2022年度の対象となる動物実験計画承認件数47件 （岡山キャンパス5件、今治キャンパス42件）
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

## 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物飼育室の利用マニュアル、岡山理科大学（岡山地区）動物飼育室の緊急時対応マニュアル、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する細則、災害対策計画（Program Description）、実験動物飼養保管状況の自己点検票、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管施設視察記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 利用マニュアルや取扱細則類により飼養保管が適正に実施されている。動物飼育室の利用マニュアル（岡山キャンパス）に改善すべき点が見られたため改訂を行うとともに、飼育室内の整理や衛生管理等の必要な改善を行った。また、岡山キャンパスにおいて、効率的な感染を検出できるよう微生物モニタリングの再検討が必要である。今治キャンパスにおいては、ILARガイドに対応した詳細マニュアルを準備中である。
4) 改善の方針、達成予定時期 2023年度中に、微生物モニタリング手法を改善する（岡山キャンパス）。2023年度中にILARガイドに対応したマニュアルを整備する（今治キャンパス）。

## 5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置申請書、実験動物飼養保管施設一覧、実験動物飼養保管施設視察記録、実験動物飼養保管状況の自己点検票、空調設備整備報告書（今治キャンパス）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物飼養保管状況の自己点検票の提出および委員会による視察により岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程が求める設置基準を満たしていることを確認している。機関内の飼養保管施設は適正に維持管理されている。 承認された実験動物飼養保管施設10ヶ所（岡山キャンパス5ヶ所、今治キャンパス5ヶ所）

<p>施設名称：臨床生命科学科飼育室、工学・生命科学部飼育室、動物学科飼育室（1・2）、動物学科屋外飼育場、獣医学部実験動物センター、獣医学部教育病院棟飼育室（1・2）、獣医学部大動物実習施設、獣医学部動物繫養施設</p> <p>承認された実験室19ヶ所（岡山キャンパス11ヶ所、今治キャンパス8ヶ所）</p> <p>一部の飼育室について、温湿度等の環境条件の確認は行なっているものの、記録を保管していなかったため、記録・保管する体制を整備した。また、湿度制御のない飼育室に関して、加湿器等の導入を開始した（岡山キャンパス）。獣医学部は開設後5年が経ち、経年劣化が見られ始めている。獣医学部実験動物センターの飼育室系統排気装置で機能劣化のあった一部の装置をオーバーホールし、また、空調制御システムの無停電措置全てを更新し、それぞれ安定稼働のための整備を行った（今治キャンパス）。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>加湿器等の設備の導入が完了していない飼育室の導入を進める（岡山キャンパス）。飼育室温湿度センサーの経年劣化について、補正限界に近付いているものから適宜交換を行う（今治キャンパス）。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験教育訓練実施記録、動物実験教育訓練受講者リスト、岡山理科大学動物実験講習会資料、実験動物管理者研修会修了証</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。また、実験動物管理者は公立私立大学実験動物施設協議会の研修会を受講し、専門情報を習得した（2023年度1名）。</p> <p>2022年度の教育訓練実施回数：21回（岡山キャンパス：10回、今治キャンパス：11回）</p> <p>2021年度の教育訓練受講者数：503名（岡山キャンパス：233名、今治キャンパス：270名）</p> <p>教育訓練での人獣共通感染症の内容をより詳しいものに変更した（岡山キャンパス）。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

## 7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡山理科大学の動物実験に関する自己点検・評価報告書、岡山理科大学における動物実験等に関する情報のホームページ (<a href="https://www.ous.ac.jp/outline/disclosure/expanimcommitte/#tenken">https://www.ous.ac.jp/outline/disclosure/expanimcommitte/#tenken</a>)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、岡山理科大学における動物実験に関する情報を公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>実験動物慰霊祭を開催した。</p> <p>（岡山キャンパス：2023年2月7日、今治キャンパス：2022年12月2日）</p>
--

## 9. 添付資料

2022年度使用数（頭数）					
マウス	6496				
ラット	789				
ハムスター	82				
モルモット	15				
スナネズミ	37				
ハタネズミ	889				
トゲマウス	114				
スンクス	186				
ウサギ	7				
イヌ	13				
ブタ	8				
ウマ	2				
ウシ	4				
その他哺乳類（モグラ）	2				
ニワトリ	73				
ニワトリ（受精卵）	2250				
ウズラ（受精卵）	1110				
ヘビ	37				
カメ	25				
2022年度実験動物の飼養状況（頭数）					
マウス	1170				
ラット	64				
ハムスター	25				
スナネズミ	42				
ハタネズミ	240				
トゲマウス	70				
ヌートリア	6				
スンクス	145				
ウサギ	8				
イヌ	18				
ネコ	8				
シカ	2				
ウズラ	24				(2023年3月末現在)
動物実験計画書の年間承認件数（5年間）					
実験開始	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
2018/4/1～2019/3/31	48				
2019/4/1～2020/3/31		77			
2020/4/1～2021/3/31			122	8	
2021/4/1～2022/3/31				146	84
2022/4/1～2023/3/31					81
合計（件）	48	77	122	154	165